

# 第 1 回

## 輪島市本庁舎等整備審議会資料

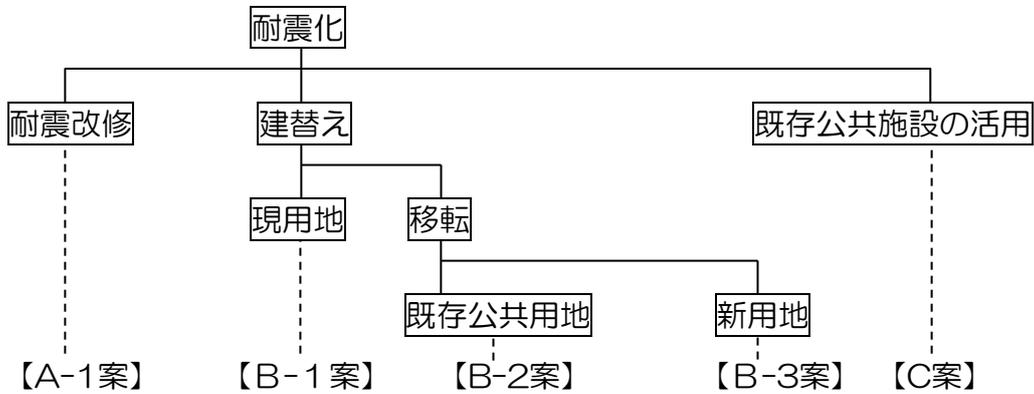
輪島市総務部監理課本庁舎等整備室

(1) 輪島市本庁舎等整備審議会の運営について

①所掌事務について（条例第 2 条）

市長の諮問に応じ、本庁舎及び文化会館の整備について必要な調査及び審議を行い、その結果を市長に答申する。

（例）



②会議について（条例第 7 条）

- ・ 審議会の会議は、会長が招集する。
- ・ 会長は、会議の議長となる。
- ・ 委員の過半数が出席しなければ開くことはできない。（7 名以上）
- ・ 議事は、出席した委員の過半数を持って決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

③会議内容の公表について

次のことについて、「市ホームページ」等で公表する。

- ・ 開催日時、開催場所、委員の氏名及び出欠、会議次第等。
- ・ 発言の要旨。（但し、個人情報や利害が絡むなどの発言内容があった場合は、非公開とする。）
- ・ 委員の発言者は、「委員」として表記する。
- ・ 委員の発言者は、「〇〇委員」として姓を表記する。
- ・ 会議の傍聴は、認めない。（但し、必要がある場合は、会長が審議会に諮り認めることができる。）

④代理出席について

- ・ 公共的団体からご推薦いただいた委員は、代理出席可。
- ・ 学識経験者及び公募委員は、代理出席は認めない。

⑤スケジュールについて

- ・ 平成 29 年度：現況・課題の把握→本庁舎等の機能及び必要面積等の審議→整備方針の審議（必要があれば、先進地視察を実施）
- ・ 平成 30 年度：整備方針の審議（概略図面・概算事業費）→パブリックコメントの実施→整備方針の決定（10 月中を目途に答申）

## (2) 輪島市本庁舎及び文化会館の現状と課題について

## ①輪島市の概要

- 人口（4月1日現在）

年度	昭和48年	昭和56年	平成元年	平成18年	平成29年
人口	49,250	47,065	43,357	34,511	27,835
旧輪島市	34,798	33,991	32,113	26,480	21,965

- 面積：426.32k m<sup>2</sup>

## ②輪島市本庁舎等の現状（平成29年4月1日現在）

	本 庁 舎	文 化 会 館
竣 工	昭和48年10月	昭和56年7月
経過年数/耐用年数※	43年/50年	36年/50年
階 数	地上5階建	地下1階地上5階建
構 造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造及び 鉄骨鉄筋コンクリート造の複合構 造
敷地面積	9,419.41m <sup>2</sup>	12,974.86m <sup>2</sup>
延べ面積	5,438.40m <sup>2</sup>	8,919.94m <sup>2</sup> (内事務所棟：4,862.92m <sup>2</sup> )
職員数	約190人	約30人（図書館除く）
公用車台数	37台	35台（社用含む）
複合施設	輪島市土地改良区、市役所売店、 輪島市職員組合	輪島商工会議所、社会福祉協議会、 図書館、輪島公民館、（一社）輪島 青年会議所、輪島ロータリークラブ、 輪島市商店連盟協同組合（輪島ス タンプ会）、輪島ライオンズクラ ブ、アクサ生命保険(株)輪島分室

※財務省令による鉄筋コンクリート造建物の耐用年数

## ＜本庁舎及び文化会館位置図及び外観写真＞



(本庁舎)



(文化会館)

## ③輪島市本庁舎等の課題

## ・災害対策の拠点施設

## 〈耐震診断結果〉

平成26年度に実施した耐震診断の結果では、本庁舎については1～3階部分において、建築物の耐震性能をあらわす $l_s$ 値<sup>※1</sup>が0.30から0.57となっており、震度6強～7程度の規模の大地震発生時に倒壊、又は崩壊する危険性があることが判明しました。

また文化会館についても、耐震診断結果では事務所棟で耐震性能を満たしていない部分があり、大ホール棟においては、建物は耐震性を有していますが、吊り天井部分は現在の基準に合っていないことが判明しました。

## 【本庁舎】

階	東西	南北	結果
5	0.85	0.77	OK
4	0.86	0.91	OK
3	0.36	0.57	NG
2	0.45	0.36	NG
1	0.30	0.32	NG

## 【文化会館】

## 事務所棟

階	東西	南北	結果
PH	1.62	1.04	OK
5	0.91	0.47	NG
4	0.63	0.48	NG
3	0.57	0.44	NG
2	0.69	0.33	NG
1	0.67	0.40	NG

## 大ホール棟（5階扱い）

階	東西	南北	結果
5	1.38	0.94	OK
4	1.60	0.99	OK
3	1.15	1.64	OK
2	1.26	1.52	OK
1	1.08	1.12	OK

※1  $l_s$ 値とは

構造耐震指標といい、建築物の地震に対する安全性を示す指標で、この数値が大きいほど耐震性能が高くなります。なお、耐震促進法で必要としている $l_s$ 値は、0.6以上とされています。また災害応急対策活動に必要な庁舎や多数の人々が利用する文化会館は、重要度係数1.25を乗じ、0.75以上の $l_s$ 値を目標値とします。

【 $l_s$ 値に基づく安全性の基準】

耐震強度	$l_s$ 値が0.3未満	$l_s$ 値が0.3以上 0.6未満	$l_s$ 値が0.6以上
建築物の地震に対する安全性	倒壊又は崩壊の危険性が高い	倒壊又は崩壊の危険性がある	倒壊又は崩壊の危険性が低い

・施設や設備の老朽化等

本庁舎	文化会館
(共通)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備、給排水設備、電気設備等が老朽化により、故障等も多く、維持管理費がかさんでいる。設備自体も古いため、今後、故障時に部分修繕が出来ず、全体更新が必要となる場合が予想される。</li> <li>・多くの部屋の空調設備は集中管理のため、各々の部屋で温度調整ができず、非効率である。</li> </ul>	

・施設の狭隘化

本庁舎	文化会館
(共通)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務量の増加に伴い、一部の執務室や書庫などに狭隘化が見られる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品等の収納スペースが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輪島市立図書館は、市民の閲覧スペース等が手狭となってきている。</li> </ul>

・市民利便性

本庁舎	文化会館
(共通)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車スペースの不足</li> <li>・窓口分散化（本庁、健康推進課、上下水道課、教育委員会事務局）により、来庁者は施設間の移動が必要になる場合がある。</li> <li>・部分的な小規模改修でしか対応できないため、バリアフリー化には充分に対応できていない。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口部署（市民課や税務課等）が2階に配置されている。</li> <li>・相談スペースの不足</li> <li>・待合スペースの不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小ホールが3階に配置されており、昇降機が1台しかない。</li> <li>・玄関口まで車両の進入が出来ない。</li> </ul>

・法の適合性

本庁舎	文化会館
(共通)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・休養場所や更衣設備など、職場の衛生基準を満たしていない部分がある。</li> <li>・耐震性・エレベータなど、既存不適格な部分がある。</li> </ul>	

・その他

本庁舎	文化会館
輪島市土地改良区、市役所売店、輪島市職員組合	輪島商工会議所、社会福祉協議会、図書館、輪島公民館、(一社)輪島青年会議所、輪島ロータリークラブ、輪島市商店連盟協同組合(輪島スタンプ会)、輪島ライオンズクラブ、アクサ生命保険(株)輪島分室